

発行：2014年5月 発行責任者：松崎 道幸

第15回憲法セミナー 「札幌の朝鮮人強制連行」開催しました。

(5月17日 北海道クリスチャンセンターにて)

講師に、小松豊さん（札幌郷土を掘る会代表）をお招きして開催しました。前日からの『リラ冷え』を通り越すような冷たい雨・風の中を、70の方が来場され、熱心に講演を聞かれていました。札幌の朝鮮人強制連行について『初めて聞きました』という方も多く、歴史を語り継いでいく必要を改めて感じたセミナーとなりました。

参加者からは『心に刻むべき貴重で大切な内容でした。小松先生が言われるように、語り継ぐ必要があります。次代を担う人たち、若い人たちに知ってほしい。これも大人の責任です』『たくさんの資料と具体的なお話が聞けました。今日は小松先生のこれまでの長い活動の一端を理解でき、感謝しています』『解釈改憲に進もうという動きがある今、戦時下において行われた異常な事態を私たちが若い人たちに伝えていくことが大事だと思いました』などの感想が寄せられました。

講演資料を2ページ以降に掲載しましたので、どうぞご覧ください。



第25号 目次

- 第15回憲法セミナーを開催…………… 1
- 「札幌の朝鮮人強制連行」講演資料…………… 2
- 寄稿：福島のと、沈黙は野蠻だ
岡本 哲軌…………… 17
- 憲法を活かそう！まちかどリレートーク
猫塚義夫共同代表のスピーチから…………… 19
- みなさんへのお知らせ …………… 20

第15回憲法セミナー「札幌の朝鮮人強制連行」 講演レジメ・資料

はじめに

- ・「慰安婦」問題や領土問題などで韓国は怒っている。市民レベルの平和友好交流を。
- ・札幌、日本の子どもたちは教えられなくなって、すでに10数年。教育の効果がじわじわと
- ・国はどこをこだわるのか。教科書の変化をみると、主に強制性で、その表現を薄めるか、否定するかである。

1. 朝鮮人の移入時期は、大きく見て2つ

1 期目：1910（明治43）年、韓国併合条約～1939（昭和14）年、同時に同化政策実施。

2 期目：1939年秋～1945（昭和20）年、国策による「強制連行」（3段階：募集・官斡旋・徴用）（1期目以降、蔑視と差別の中で生きることを強いられる）

2. 民間と国策

A 民間：周旋屋（釜山、元山、麗水）から、タコ部屋に売られる。終戦まで続く。

B 国策：協和寮（協和会強制加入、管理運営、協和手帳の常時携帯）。1939年札幌協和会結成。

政府では、内務省警保局（特高）と厚生省が管轄。

中国人強制連行は1944年から。

（朝鮮総督府、警察当局、職業訓練所、協和会関係団体などと密接に連携。日本列島全体が朝鮮人にとってタコ部屋だった）

3. 国策化の流れ

建設・鉱山などの事業場の申請数決定

- 道府県長官宛て募集申請
- 厚生省決定
- 朝鮮総督府の募集すべき道の割り当て
- 募集員朝鮮渡航
- 総督府から指定された道庁

- 指定郡庁
- 指定面（村）事務所
- 面事務当局
- 区長警察署または駐在所。朝鮮内の役人（高官）・警察はほぼみな在朝の日本人。

* 面有力者の協力のもとに行われていた。「募集」の形式をとっているが、募集目標に達しない場合は官吏や警察、面有力者が加わって強制がなされた。（「朝鮮人強制連行の記録」朴慶植著 1965年 未来社）



4. 第1陣 手稲・豊羽などの鉱山へ

1939（昭和14）年

行き先を告げず、車窓を閉じ、現場到着後、「募集条件と違う」と揉めた。「罷業（ストライキ）」などは特高が鎮圧した事例がある（特高月報）。

5. 関係者の証言

①募集員 現地で待機・連行：豊羽鉱山の田中豊治さん、後藤芳夫さん、渡辺実さん、小泉誠宏さん

②連行された金達善さん

6. 各区では

東 区 丘珠飛行場（1939～1944） 国策・民間

手稲区 手稲鉱山（1939～1945） 同貯水池（1939～） 国策

- 南区 豊羽鉦山 (1939 ~ 1945) 国策
本竜鉦山など、ほかに6か所が考えられる。
- 北区 北24条飛行場軍用滑走路拡張工事 (1944) 民間?
- 中央区 北部軍秘密地下司令部壕 (1945 ~ 未完成 宮の森神社山 少年工も) 国策
- 豊平区 北部軍司令部、防空作戦室 (1943 ~ 地上2F 地下3F コンクリート製) 国策
月寒公園斜面北部軍用隠匿物質穴掘り (1945) 国策

7. 個人補償は未解決。賠償問題は「経済協力」にすり替え

- ・日本人との差別待遇。未払い賃金も対象のは

ずだが。

- ・1965 (昭和40) 年の「日韓基本条約」(佐藤栄作と朴正熙) には賠償、個人補償の双方に大きな問題がある。
- ・基本は、日本政府が被害者の立場になって、言われなくても、ましてや裁判になる前に進んで誠意をもって事実を認定し、謝罪することである。

8. 語り継ぐ(事実を伝える。学校=教科書、社会教育) 「掘る会」でも、教科書改善要求、講演、フィールドワークなど。

小松 豊

(1947年生まれ 元中学校社会科教員 札幌郷土を掘る会 民衆史道連 平和憲法草の根普及会)

日本国憲法67回目の誕生日

全道各地の「憲法を活かそう」集会に例年以上の参加者

憲法記念日の5月3日、全道各地で「憲法を語り、活かす」集会が開かれました。改憲への道をひた走る安倍政権のもと、戦後日本の平和主義が大きな分岐点を迎えようとする中で、各地の集会には近年を上回る多くの市民が参加して、ともに憲法を考えました。

函館市では、「憲法記念日 道南市民の集い」(主催 戦争しないための選択・9条を考える道南の会)に、会場一杯の400人が参加しました。

沖縄県東村高江の木工職人、伊佐真次(いさ・まさつぐ)さんが「米軍基地のある沖縄の今 住民の心と憲法」と題して講演しました。伊佐さんたちの住む高江周辺は、続々と新種の生物が発見される”やんばるの森”と呼ばれ、世界自然遺産候補にもなっています。ところがその貴重な自然を破壊して、米軍のヘリパッドが建設されようとしていて、地元住民が建設反対の声を上げています。「基地はいらない」と、日

米両方の国家権力に訴え続ける沖縄。そして「大間原発はいらない」と国を相手取って提訴した函館。沖縄と道南の連帯が芽生えた憲法記念日になりました。

札幌市では、道憲法会議などが主催する「憲法を語ろう!道民集会」が開かれ、650人の市民が参加しました。講演は、全日本おばちゃん党代表代行の谷口真由美さん(大阪国際大学准教授・国際人権法)。「生まれも育ちも大阪ですから」とヒョウ柄をまもって登場した谷口さんは「10歳の子どもにも分かるように、目線を下げて憲法を語る」ことの大切さを強調。「いろいろな工夫をして、憲法の中身を多くの人に知ってもらうことから始めよう」と呼びかけました。



はじめに (改悪された教科書)

労働力不足を補うため、強制的に日本に連行された約70万人

の朝鮮人や、約4万人の中国人は、炭鉱などで重労働に従事させられた。さらに、徴兵制のもとで、台湾や朝鮮の多くの男性が兵士として戦場に送られた。また、多くの朝鮮人女性なども、従軍慰安婦として戦地に送り出された。

261P

地域から歴史を考える

朝鮮・中国から強制連行された人々

朝鮮人・中国人の強制連行は、どのように行われたのだろうか。また、連行された人は、どのような労働を強いられたのだろうか。

P262



強制連行された人々の慰霊碑(北海道常呂郡置戸町)

筑豊(福岡県)の炭鉱の金さん

金大植さんは、1943年2月、家へ寝ているところを警察官と役場の職員に徴用令状をつきつけられ、集結地まで手錠をかけられたまま、125名の朝鮮人問題とともに日本に連行されてきた。日本へ送られる途中の監視は厳しく、便所へ行く時にも？人の監視係の目が光っていた。一行が福岡県の田川後藤

教育出版『中学社会歴史』1998(H10)発行より

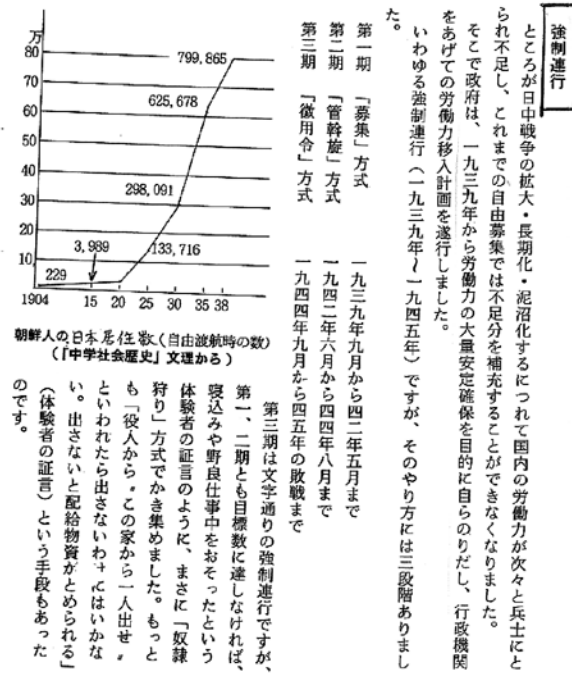
皇民化政策

戦争が激しくなると、日本は総力をあげて戦争にのぞむため、植民地の朝鮮や台湾の人々を「皇国臣民」にする政策を行いました(皇民化政策)。学校では、「国語」として日本語が教えられ、朝鮮語や中国語の使用が禁止されました。また、皇居に向かっの敬礼や、各地に建てた神社への参拝を強制しました。さらに朝鮮では、日本式の名前に変える創氏改名も行われ、台湾・朝鮮の人々からも徴兵を実施しました。日本国内で労働力が不足すると、企業などで半ば強引に割りあてを決めて朝鮮人や中国人を集め、日本各地の炭坑・鉱山などに連れて行き、低い賃金できびしい労働をおしつけました。

213P

帝國書院『中韓の歴史』2012(H24)発行より

※ いずれも不正確な使用



この結果、七〇万とも八〇万とも、一説には一五〇万人ともいわれる朝鮮人が強制連行されてきました。

募集・拉致・強制連行は朝鮮総督府から村々の末端機関(含職業紹介所)の責任のもとで、朝鮮労働協会(一九四一年設立)という専門機関が主として遂行しました。日本・満州に連行された朝鮮人は、内務省(特高)・厚生省を中心につくられた協和会によって管理されました。管理といっても主な目的は、逃亡防止・同化(皇民化)の指導・監視でした。

在日朝鮮人はこの会に強制加入させられ、「会員章」の常時所持を義務づけられたわけ

です。

協和会(協和事業団体)

協和会は一九三四(昭和九)年の閣議決定にもとづいてつくられました。「中央協和会」の理事・参事には、厚生省・内務省特高・朝鮮総督府の局長、課長級の役人になりました。道府県の協和会には、会長は全て知事、副会長には学務・警察両部長(東京では警察部長のかわりに警視庁特高部長・京都では市長)がなり、事務所は道府県の社会課におかれました。さらに、各警察署長を会長にした各支会協和会(一〇二四カ所)がおかれ、その下に地域的職域別に分会、さらにその下に一〇二〇世帯ごとに補導班が

あり、補選員がおられました。

要するに朝鮮人にとっては、日本列島全体が大きなタコ部屋そのものだったわけですが、協和会の仕事の一つは「不良朝鮮人の送還……」というのがあります。「不良朝鮮人」とは協和会の仕事を「妨害」する朝鮮人のことを指していました。

半島人結ぶ

佳日・札幌協和会設立

佳日・札幌協和会設立の新聞記事。協和会は、朝鮮人の送還を目的として設立された。協和会の仕事は、朝鮮人の送還を目的として設立された。協和会の仕事は、朝鮮人の送還を目的として設立された。協和会の仕事は、朝鮮人の送還を目的として設立された。



札幌協和会結成（当時の新聞記事）

一月二三日に結成されました。当時の新聞によると午後一時から札幌署において札幌市内に在住する朝鮮人百五〇名と特高課長、札幌市長、札幌職業所長、地崎組役員他多数の参加のもと開かれたとあります。

当時の市内在住朝鮮人数百五〇名の正否は別にして、札幌に強制連行された朝鮮人労働者の数は現在までの私たちの調査で明らかになつた数でさえ十一ヶ所延べおよそ九千人にのぼります。

その中には、朝鮮人北大生が日本人と連帯して行つた独立・抵抗運動や組合支援運動がありました。また、先にも述べたように北二四条の札幌飛行場拡張工事での朝鮮人飯場における民族主義的行動もありました。



出典：海峽の波々々
「札幌の朝鮮人強制連行と労働」
札幌市史編纂部編、シリーズ5、1989年

	渡航	帰還	居住人口 (A)	人口 (B)
1931	140, 179	107, 420	311, 247	437, 519
1932	147, 597	103, 452	390, 540	504, 176
1933	189, 637	113, 218	456, 217	573, 896
1934	175, 301	117, 665	537, 695	689, 651
1935	112, 141	105, 946	625, 678	720, 818
1936	115, 866	113, 162	690, 501	780, 528
1937	118, 912	115, 586	735, 683	822, 214
1938	161, 222	140, 789	799, 878	881, 345

出所：渡航、帰還、居住人口 (A) は内務省調査、居住人口 (B) は国勢調査

表2 1939—45年在日朝鮮人人口動向

	渡航	帰還	居住人口 (A)	人口 (B)
1939年 (5/4)	316, 424	195, 430	961, 591	1, 030, 394
1940	385, 822	256, 037	1, 190, 444	1, 241, 315
1941	368, 416	289, 838	1, 469, 230	1, 469, 230
1942	381, 673	268, 672	1, 625, 054	1, 625, 054
1943	401, 059	272, 770	1, 882, 456	1, 768, 180
1944	403, 737	249, 888	1, 936, 843	1, 911, 307
1945 (1~5月)	121, 101	131, 294	2, 365, 263 註	2, 100, 000

(註 この数字だけは「日本残酷物語」第5部による)

↑
出典：朝鮮人強制連行強制労働の記録と現代史本巻
総論巻 1974年

二、「私は連行した」

田中武治さん

(証言一) A氏 元豊羽鉱業所社員(守衛・連行の仕事)

私は昭和一六年から一八年まで札幌市の定山探の奥にある日本鉱業豊羽鉱業所というところに就職しました。当時、今の中国から兵隊で帰って来ましたが、各鉱山とも食物が非常に豊富でした。そういうことで私の友人が朝鮮人の指導員をしておいて、是非来なさいというのでお世話になることにしました。仕事は朝鮮人の指導員ということで、当時外勤といつて今の守衛ですね、それで仕事の内容は朝鮮人の台宿(協和寮)の勤務で坑内労働者の稼働を指揮していました。

かかわり、二年契約で朝鮮から徴用になった人々を北海道の炭鉱に連れてくるような仕事をかかつかいまして、……確か昭和一六年に二、三回行きました。徴用というのは、日本鉱業と朝鮮総督府との間に契約がなされたように考えられます。というのは、私達がいきますと仕事は何もないのですが、ただ彼は警察員、市町長、そういう人々を呼び、毎日のように苦者あけての接待をしました。そのようにして、だいたい一ヶ月ぐらい旅費をいって、二百人の目標人数が集まるまで待ちました。集めるのは面長(村長)が集め

ます。朝鮮では長のはきは、日本人でした。いい建物、便利なところは全部日本人が占領していました。当時の日本の警察(朝鮮内の)がどれくらい権限があったか、といいますが、(例えば)朝鮮人がちよっとしたことをしても、牢屋におち込んだので、結局朝鮮人は謝って来ました。
① 人数が集まりませんと通知が来て、大連なら大連の駅前に二百人を集まさせておくので引き渡しをしたいと思います。行くとすると駅前にちよんと二百人が揃っていて、汽車に乗るばかりの身仕度でもって集まっていたことを記憶しています。そのまま汽車で連れて来ました。連行中、列車の窓などから逃げたものもいました。
② 三人(うち一人は朝鮮人で世話役兼情報提供者)で行きました。
その当時、考えますと、徴用で来たものだから、どこかの炭鉱に行くとは向うでは的確な指示がなかったように、北海道の現場に来てから大変もめるわけです。「条件が違う」とか、「鉱内に入るという条件はひとつも聞いていなかった」とか、いろいろなことでもめたことがあります。
船りのことですが、来る時は全部揃って来るわけですが、二年間終って船りになると事故で亡くなった方や、あるいは途中で列車の中から逃げる人があって、二百人が百人から百十人くらいになってしまいます。朝鮮人の人が大阪とか東京とか名古屋とかに沢山いて、

④

そういう情報が全部入っていて、大阪駅で停車中に何十人と逃げる。逃げた者は逃げた者で放っておきました。特高も乗って下関まで行きますが(通訳がついて)、そういう状況について一言もいけません。逃げたのは、帰っても徴用が得ていたからでしょう。

私、朝鮮人を送って行った時、朝鮮人に殺されそうになったことが一回ありました。というのは、日本人によって虐待された恩返しですね、釜山に上るとガラッと態度が変わってしまいます。今度は恩返しをやるよということなんでしょう。ところが私共は下っ端で若かったから、あの責任者の中にはひどい目に会った人もいます。この耳で聞いたのですが、あれは確か大連の町でした。旅館に泊っている時襲われもう大変な目に会ったそうです。
後藤孝夫さん

(証言二) R氏 同鉱山元社員(連行・勤務の仕事)

私が連行した人数は左記の通りです。
昭和一四年 全羅北道より……一〇四名・昭和一五年二月 忠清南道より……六四名
昭和一五年秋 忠清南道より……約二百名・昭和一六年一月 京畿道より……約二〇名
昭和一六年秋 慶尚北道より……約一〇〇名・昭和一七年 黄河道より……?名
契約年が過ぎて帰る人は約40名で他は契約を延長しました。
昭和二〇年、九月一班、十月二班、十一月三班、十二月四班と朝鮮に返りました。小樽

より二人残りました。C 渡辺実さん
連行は長官に申請し、朝鮮総督府に行くことまで指定される。その後、道の方で郡・町・面の指定を受けます。警察(日本人)の紹介で村をまわり健康診断をします。
(証言三) C氏 同鉱山元社員(連行・守衛の仕事)
二年契約で二百人ぐらいずつ連れてきます。募集の朝鮮人(強制みたいなもの)を鉱山まで連れてくるのに一ヶ月かかりました。昭和二〇年、引き上げるのに三ヶ月以上かかりました。
(証言四) D氏 同鉱山元社員(大盛鉱山(森)で連行の仕事)
昭和二一年〜二七年の間に二回朝鮮人を連行しました。朝鮮に連れて帰る時、大阪の駅で二人逃げられました。
⑤ 朝鮮人強制連行の順序
事業場の申請数決定↓府県長官宛募集申請↓厚生省査定↓総督府の募集すべき道の割当
↓募集員朝鮮渡航↓総督府↓指定された道庁↓指定郡庁↓指定面事務所↓面事務所当局、区
長警察署又は駐在所、面有力者の協力の下に行なわれた。「募集」の形式をとっているが、
官吏や警察、面有力者が加わっていて強制がなされた。一応は募集のポスターが道、区、面
の事務所にはられ、一般に認知させ、いつまでどこに申し込めと明記してあるが出来る
だけの方法で狩出した。(以上、林慶植著「朝鮮人強制連行の記録」より)

三、「農道を歩いていると、いきなりトラックに」

金達善さん

現在札幌在任の金達善さん（六九才）は、当時のことをこう語ります。

「たしか昭和十四年の八月二十五日のこと。朝、家を出て田舎道を歩いていると、後からトラックがやってきて私の前に止まった。二人が降りてきて、どこへ行くかと聞くので、二人が降りてきて、どこへ行くかと聞くので、親戚のところへ遊びに行く」と答える。いや、すぐそこだから、いい。と言うと、しつこく言われ、ついには、かえられて無理矢理トラックに乗せられた。」



1939年当時の朝鮮半島の地図

当時二〇才前の農家の息子金さんは、農道歩行中、文字通り強制連行されたのです。金さんを拉致した二人の男につ

⑤

いて「二人は、朝鮮人の通訳で、もう一人は、日本人だった。」といっています。また、「その日本人は、頬が細くて特徴があったので今でも忘れない。」ともいいます。

ところで、政府による強制連行は、金さんが拉致される約二〇日前に正式決定されています。一九三九、昭和十四年七月四日、政府（平沼一郎内閣）は、国家総動員法にもとづく閣議決定で、「昭和十四年労働動員実施計画綱領」を定めました。国家権力による朝鮮人強制連行は、この時から組織的・計画的に始まったのです。

当初は、強制連行といっても朝鮮人の抵抗をおそれ、「募集」方式をとりました。それでも目標数（村ごとの割当数）に達しなければ、金さんの場合のように「人間狩り」式で不足数を補わなければなりません。強制連行が政府決定すると、人数の割り当てをうけた企業（組）―炭鉱・金銅鉱山・土建な

半島労働者大部隊 全国に魁りて来道

三陸 各額山に配給さる

第一陣函館入港予定を報じる『朝日新聞』（S14.10.2付）

⑤

どーは、早いものは九月から各企業の代理人（社員など）を朝鮮に送りこみました。警察と役所は、代理人と連絡・接触をとりながら割り当てられた人数を目標にして、「募集」・拉致の方法で朝鮮人のかり集めに奔走しました。代理人は、期限までに目標数を集めてもらうために、派遣や役人におみやげを持っていき、旅館などで芸者あけて接待し、だいたい一〇〇名集めるのにおよそ一カ月かかったといっています。



第3回札幌民衆史講座で証言する金達善さん（'87.11.2参加150人）

「37.11.2参加150人」に人夫募集のきている最中におきたことでした。当初、割り当て地域は、千歳で被害の大きかった朝鮮南部の七道（京畿・忠清南北・全羅南地・慶尚南北の各道）に集中して行きました。金さんは、大正九年五月五日生れ、慶尚北道ソウ州郡イナシ面シンチ里の出身です。第一陣（十月三日函館入港）を報じる当時の新聞をみると、八月に拉致連行された金さんは、連絡をうけた代理人は駅までいき、目標人数の朝鮮人をそこでうけとり、日本の自社の寮、飯場まで連れてきます。金さんの場合も、村に人夫募集のきている最中におきたことでした。当初、割り当て地域は、千歳で被害の大きかった朝鮮南部の七道（京畿・忠清南北・全羅南地・慶尚南北の各道）に集中して行きました。金さんは、大正九年五月五日生れ、慶尚北道ソウ州郡イナシ面シンチ里の出身です。第一陣（十月三日函館入港）を報じる当時の新聞をみると、八月に拉致連行された金さんは、

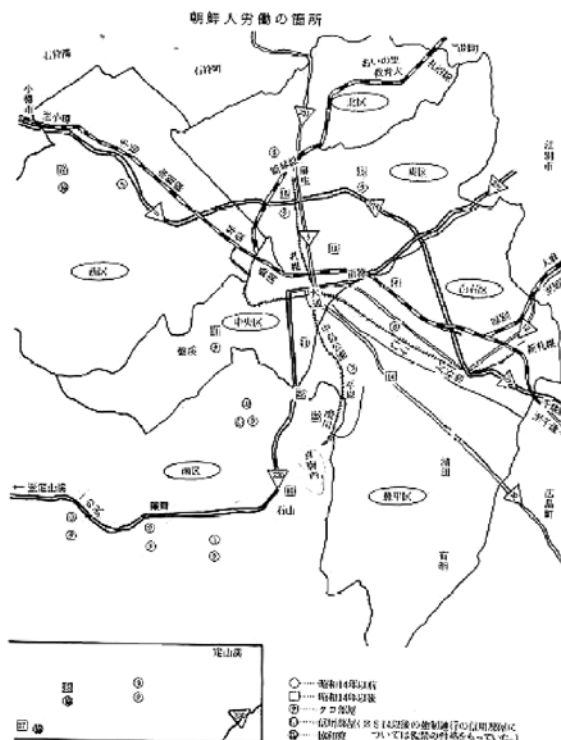


金氏が連行された経路図

年月日に記憶違いがなければ、いわゆる強制連行の「青田買い」の類だったのかもかもしれません。車には、一八、九人の男がいて、その中に一六、七才の少年も七人くらい乗っていた。どこへ行くのかと聞いても、知らない、というだけ。誰も先行はわからなかつたよ。それで、日本人に聞くと、行けばわかる、というだけだった。そのまま郡まで連れて行かれ、旅館で一泊させられた。百人くらいいただろうか。私の村から来たものも二〇人くらいいた。ほとんどの人が無理につれてこられたようだった。服は、南京袋でつくったようなものばかりかえられたので、かゆくてたまらなかつた。翌夕方三時半頃、旅館をでて汽車で元山まで連行され、旅館に二泊する間に人がふえ三〇〇人くらいになった。見張りがいたので逃げるに逃げれなかつた。次の日の四時三〇分頃、三〇〇人は全員船に乗せられ、五時半頃汽笛がなって出航した。

札幌における朝鮮人労働一覧

工 期	工 事 名	朝 鮮 人 労 働 者
① T 7 年	定山溪鉄道 (南区)	朝鮮人もいた
② T 9 年	麓野発電所 (南区)	〃
③ T 15 年	一の沢発電所 (南区)	〃
④ T 15 年	千歳線工事 (苗穂～苫小牧)	〃
⑤ T 中～8 初	下千歳排水組合水路工事	〃
⑥ T 中～8 初	新琴似排水組合水路工事	〃
⑦ S 3 年	平岸村道路改修工事	朝鮮人42人
⑧ S 6 年	白石第二治水工事	朝鮮人もいた
⑨ S 7 年	地崎道路 (定山溪～朝里)	朝鮮人半分位いた
⑩ S 11 年	藻岩発電所(南区藻岩～藻岩下)	朝鮮人のみの飯場8つ
⑪ S 12～20年	豊平川砂利採取・砕石作業	朝鮮人もいた
⑫ S 14～20年	手稲鉱山 (西区)	朝鮮人大変多くいた
⑬ S 14～20年	豊羽鉱山 (南区)	〃
⑭ S 15～20年	北部軍指令部地下 (月寒)	朝鮮人もいた
⑮ S 18～19年 (17) (20)	丘珠飛行場 (東区)	朝鮮人大変多くいた
⑯ S 18～20年	硬石山砕石・運搬 (南区石山、千歳飛行場へ)	朝鮮人多くいた
⑰ S 18～20年	日鉄本館鉱山(南区・中山峠)	朝鮮人もいた
⑱ S 18～20年	札幌飛行場拡張工事 (北区N24W 7 付近)	朝鮮人多くいた
⑲ S 19年	市内迷彩工事	朝鮮人もいた
⑳ S 20年	軍用物資貯蔵用穴掘り (南区澄川、少年兵)	全部朝鮮人
㉑ S 20年	北部軍指令部地下壕 (中央区神社山)	朝鮮人大変多くいた
㉒ S 20年 (戦後)	豊平川砂利採取(藻岩橋付近)	朝鮮人もいた



7

資料 1

札幌の朝鮮人犠牲者一覧

1989. 8 現在

氏 名	日本名	年齢	工事名	死亡年月日	死 因	根 拠
金 勝興		48	藻岩発電所	S 10. 1. 22	不 明	過去帳
金 尚守		39	〃	S 10. 2. 5	〃	〃
	山本 清吉	35	〃	S 10. 6. 14	隧道 土砂崩落	新聞 (SD0. 6. 16 付)
	朴 今壽	29	〃	S 10. 8. 12	隧道 岩石落下	新聞と (SD0. 8. 13 付) 過去帳
	李 成万		手稲鉱山	S 14. 11. 7	落 盤	[特高月報] (SD4. 11. 12 月分)
(以下、傷害) (発生前年月日) (原因)						
	李 成佐	木村 一郎	第3治水工事 (白石村字 白石25)	S 6. 5. 31	歩行中 襲撃乱打	新聞 (S6. 6. 2 付)
	白 学基	久保田正雄	藻岩発電所	S 10. 2. 22	袋叩き	新聞 (S 10. 3. 2 付)
	金 昌鏡	久野金之助	不 明	不 明	喧嘩	新聞 (S 10. 10. 10 付)

※当時の見聞者の証言による犠牲者は、除いた。(氏名不明の為)
 ※朝鮮人同士の喧嘩による犠牲者も除いた。
 ※新聞は、全て「小樽新聞」である。
 ※これらの犠牲者は、氷山の一角と考えられる。

南區
豐羽鉞山



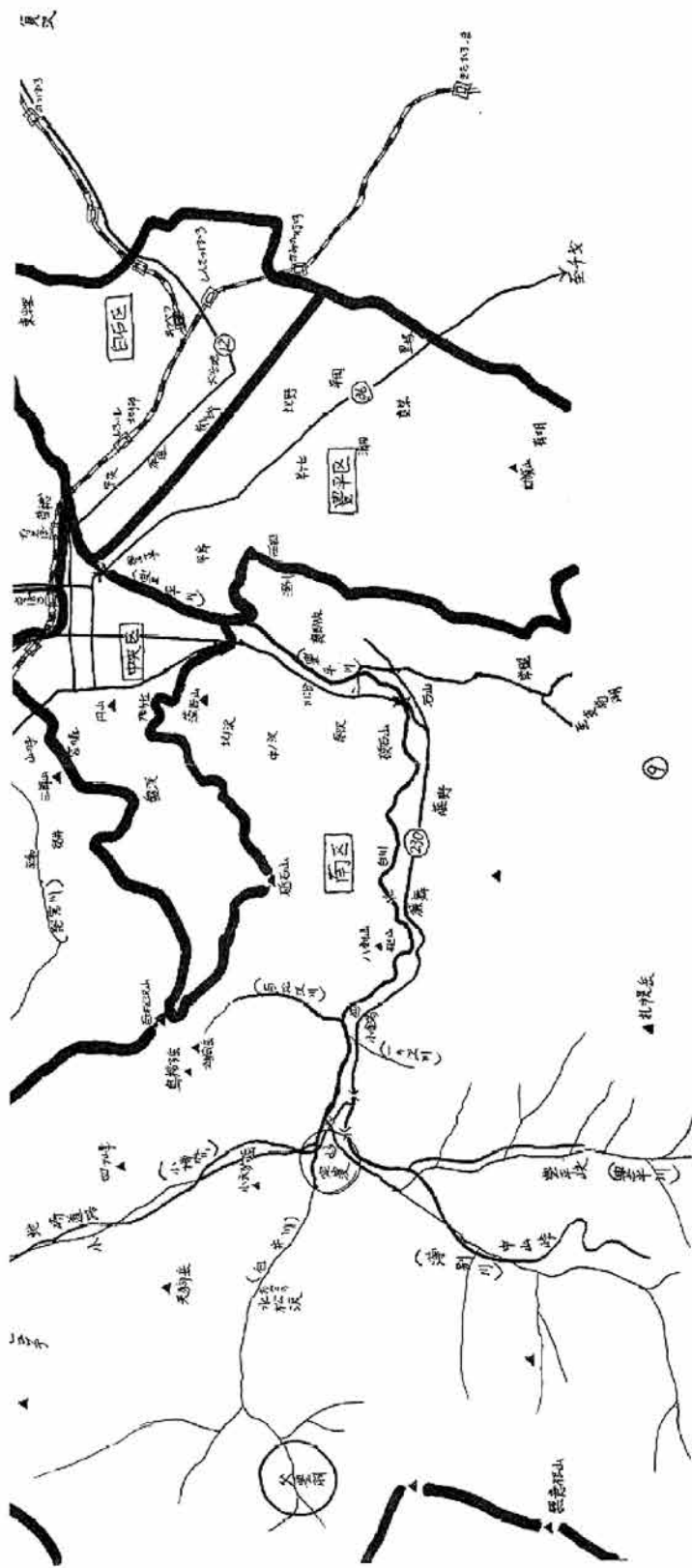
南山 正面事務所



立坑入口



廢水處理場



豊羽鉾山本山案内図



中央区 北部軍秘密地下司令部
神社山由(完成(秘蔵))



神社山

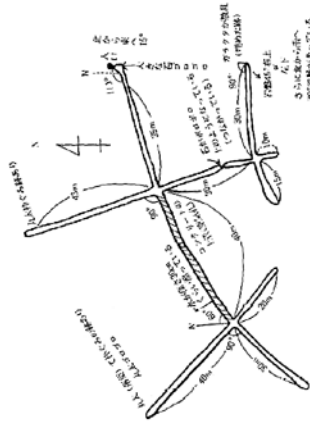


入口

月寒公園斜面北高輝司令部隠匿物資穴



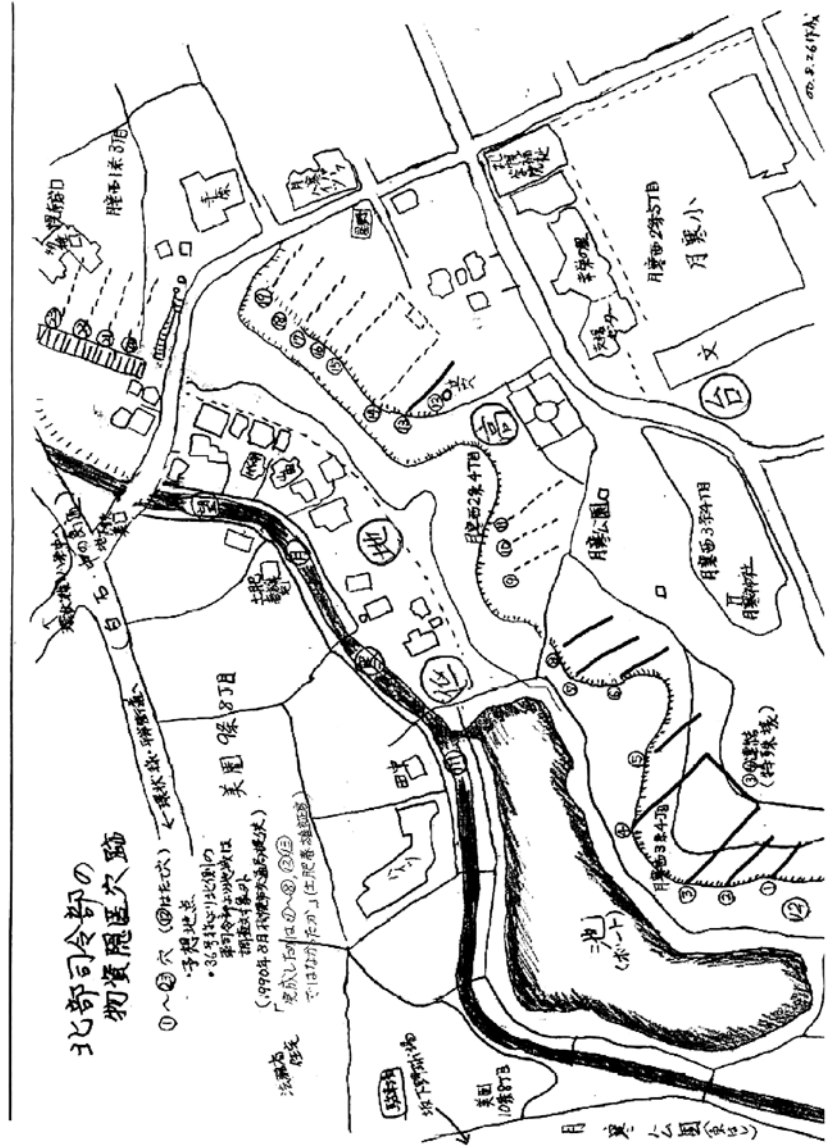
右土肥春雄氏
1976年



神社山地下壕 (未完成) 見取図 (高さ2m位 幅2.8~3m)

北部司令部の
物資隠匿穴跡

①~⑩穴 (神社北) ←環状状・神懸蓋
予想地点
・36号機中隊司令部の
事務所跡
(1990年8月不発弾調査の結果)
「完成し四角は④、⑤、⑥、⑦
では不在だが」(江原浩雄証言)



00.8.26作成

豊平区
北部隊 地下防空指揮所(作戦室)
2008年2月解体



豊平区
北部隊司令部(現豊中学校の所) 戦後直後建設



高台(千城台)にある北部隊司令部と佐地の美園の位置は「新報」に
見えたといふ。

北部隊司令部防空指揮所

(ほぼそのまま現存。06年3月まで自衛隊が送付所として使用していた。)

- ・場所：豊平区東条2条1丁目7 (月寒中学校のグラウンドから1本小道を挟んだ後ろ) 当時、周辺敷地内に通信隊の隊舎や宿舍(今は住宅街)、アンテナの鉄塔(現存)があった。
- ・建設：1942年工事開始、1943(s18)年春完成(突貫工事)
- ・工事：発注元：北部隊司令部経理部
請負会社：廣野組、田口組、地崎組、鉄道工業
- ・施設：空襲に耐えられるコンクリート製(厚さ1~2m)、地上2F、地下3F
地下1F~地上2Fまで前半吹き抜け。地下2Fは自家発電機室、地下3Fは護身室(床に鉄の扉があって、そこから地下道=資料20に通じるとの証言がある。) 扇根に土、草木、そして高圧機関鉄を配置。壁の上部を後で黒塗りにしたと
のことである。(細線写真：資料15、内部構造：資料16~19)
- ・労働者：「経理部の労働班は朝鮮人強制連行と使用を担っていた。今の指揮所の場所は当時少し小高みになっていて、整地した。3年かかるのを1年余の突貫工事だった。強制連行された朝鮮人労働者とタコ部屋労働者を使用したから出来た。」
「地下司令部の格闘は朝鮮人80人位だったように思う。飯場は栄通：丁目あたりの畑の中にあっただと思う。側に望月寒川がある。高台と川の間にあたりだ。朝鮮人が西岡の方に逃亡し、山狩りが行われた。完成すると地下司令部にNHKの高橋三アナウンサーも入って仕事をしていた。」



福島のと、沈黙は野蛮だ

岡本 哲軌 (会員)

第一次安倍政権当時の会員、岡本哲軌（52歳 整形外科医）と申します。

“憲法9条を保持する日本国民がノーベル平和賞の正式な候補になった、と会員の皆様にお知らせすることを事務局へ提案したところ、今回の原稿を依頼されました。

ノーベル平和賞に関するネット署名は以下のサイトです。

http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/2014/03/blog-post_4927.html

“テーマは自由です、との言葉に甘えて9条やノーベル賞とは直接関連のない東日本大震災以降の経験や思いを書かせていただきます。

1. 福島原発事故を経験した後でも、原子力ムラは撤退する気がないようです。

福島第1原発事故発生後、私は“使用済み核燃料を増やしてはならない、エネルギー政策を変えたい、との思いを持っていたのですが、しばらくは何の行動をすることもできずに過ごしておりました。ひよんなことから、10万円前後を出資すると北海道電力株式会社(以下、北電と略します)の株主として株主総会で発言できることを知りました。早速、平成23年秋に北電の株を購入、誘われるまま“脱原発をめざす北電株主の会(以下、脱原発北電株主会と略します)、に入会して平成24年6月に開催された株主総会に出席しました。世論が大きく脱原発に動いていた福島原発事故発生後1年余りの時期、株主総会に出席した北電株主の大多数が泊原発再稼働をめざす会社の意向に

賛成していることに愕然としました。

2. 公聴会参加の勧め。

平成25年6月、“北電の電気料金値上げに係る公聴会、での意見陳述人になりました。平日に開催されたのですが、運よく休診時間に陳述の順番が回ってきたので出席することができました。公聴会の数日前のこと、意見陳述人に与えられる15分間の中で電気料金値上げに関連していれば、経済産業省と北電に質問できることがわかりました。公聴会において陳述人の意見は無視される(意見は聞かぬが議論はしない)ようなのですが、質問すると何らかの回答を得ることができます。どうか皆様、機会が許せば公聴会に出席して質問することにより思いがけない情報を引き出してみてください。このときの成果として、北電が原子力事業者でなくなれば、福島原発の損害賠償を目的に原子力損害賠償支援機構に支払う一般負担金を免除されることが明らかになりました。

3. 将来世代に負担を先送りしないために放射性廃棄物地層処分を推進しているのでしょうか？

平成26年1月、資源エネルギー庁が主催した地域ワークショップ札幌、「共に語ろう高レベル放射性廃棄物」と称する会合に参加しました。主催者の意図は、“放射性廃棄物の概要をレクチャーし、将来へ負担を先送りしないために地層処分しましょう。あとはどこに埋めるか相談しましょ

う、とのものでした。さて、平成24年、日本学術会議は、「高レベル放射性廃棄物について」・抜本的に見直し、・科学者集団により、地層処分の安全性と危険性に関して再検討し、・高レベル放射性廃棄物の暫定保管と総量管理を柱に政策枠組みを再構築せよ、と回答しています。その処分について国民的理解を得ながら段階的に社会的合意を高める手続きを考えよ、とも述べています。

(www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-k159-1.pdf)

資源エネルギー庁とNPO法人「持続可能な社会をつくる元気ネット」は、全国各地で地域ワークショップを開催していますが、なぜ日本学術会議の回答を無視(?)して“地層処分の必要性、を伝えるのでしょうか?私の考えるところ、その理由は、放射性廃棄物の人的管理(暫定保管)を継続すると多額の費用を要し、低コストが利点とされる原発の優位性が無くなることにあるようです。地層処分の真の目的は、“将来の世代に負担を負わせるな!”ではなく、“原発を継続すること、であることを忘れてはなりません。もっともらしい言葉のマジックに惑わされてはいけませんね!

4. 脱原発北電株主 会へのお誘い

平成25年に脱原発北電株主会から株主総会に原発からの撤退を求める提案が出され、6.5%の

賛同が得られました(50%に及ばず否決されました)。平成26年6月に開催予定の株主総会では、・原子力による発電を行わない、・原子炉廃炉事業を行う、・原子力防災事業を行う、・役員報酬を個別に開示するなど6つの案が提出される予定です。提案するには事前に3万株以上の賛同を確保しなければならないこともあって、脱原発北電株主 会では入会者を募集中です。8月末までに株を取得すると翌年の株主総会で提案に参加できます。

会のホームページは、<http://hokukabu.com/>
連絡先は、

事務局 E-MAIL: info@hokukabu.com

TEL:090—6260—7443です。

岡本哲軌(wikyk@hokkaido.med.or.jp)への問い合わせも歓迎します。北電の株主総会では、原子力を推進する人たちが圧倒的多数を占めております。原子力・核を否定する方がより多く株主総会に出席することを願っています。

暴走する安倍政権の高支持率が続くのはなぜでしょう?大本営発表にだまされているのか?日本人が暴走を始めつつあるのか?「普通の国になろう」などという言葉に乗ってはいけません。私は、“日本は憲法9条を保持する特別な国でいいのだ、”と思っています。



核と人類は共存できない

猫塚 義夫 共同代表

私は高橋知事に対してものすごく不信感があります。本当は原発を続けたい、泊原発の廃炉なんてとんでもないと彼女は思ってるはずですが、もし本当に大間原発のことを心配しているのであれば、もっともっと原発の本当のことを彼女は語るべきではないでしょうか。原発の「裏側」は核兵器。核と人類は共存できない。これは明白なことです。この日本を本当に安全にするには、原発をなくすことです。50基以上の原発をもっていて、何が安全な国ですか。安倍総理が本当に日本の国民の安全を考えるなら、原発をなくすことです。相手の国が原発に突っ込んだら、終わりです。ですから、彼が本当に日本の国民の生命や安全を考えるなら、ただちに原発をやめるべきです。

(道庁前反原発抗議行動でのスピーチから 5月16日)

憲法を活かそう！まちかどリレートーク

(5月3日 札幌PARCO前にて)

猫塚義夫共同代表のスピーチ

今年の5月3日憲法記念日は、私たちの憲法が重大な情勢になっています。アメリカ政府は日本に集団的自衛権の行使を容認させようと躍起になっています。憲法を守り活かしていく活動へのご協力を心からお願いします。

私は、医療九条の会・北海道の共同代表であると同時に、毎年パレスチナに行って医療支援の活動を行っている「北海道パレスチナ医療奉仕団」の活動も行っています。

パレスチナでは、毎日毎日イスラエルからのミサイル攻撃をうけ、毎週のように一般市民が殺されています。政治的な活動をしたら、すぐにイスラエル軍がやってきて拘束していく。そして拘束されたら、10年、20年と戻ってこれない。そんな状態がずっと続いています。日本に住んでいて、政治的な意見を率直に述べても自衛隊が捕まえにくることはありません。それは日本国憲法があるからです。

私たちは毎年パレスチナに行っていますが、何を基準に活動しているかといいますと、いつも日本の憲法が基準になっています。日本国憲法の基本である「主権在民」「平和主義」「基本的人権の尊重」。このことを基準にして、世界がどう動いているかを考えます。

パレスチナに住む人々には、基本的人権は保障されていません。イスラエル政府に反対する意見を言えば、簡単に撃ち殺されます。パレスチナに平和主義はありますか。道路には数百mごとに検問所があって銃を構えた兵士が詰めています。住民であってもパスポートがなければ、そこを通過できません。これがパレスチナの日常になっています。

現地の難民キャンプなどで子どもたちからよく聞かれることが二つあります。一つは、どうして



日本は戦後60年あまりで、こんなに発展することができたのか。もう一つは、どうしてオリンピックであんなに金メダルを取れるのか、ということです。日本は国民の力で平和を維持しているからこそ、サッカーもできるし、野球もできる。だからオリンピックで好成績をおさめることができます。日本がなぜ発展できたのか、それは私たちの親世代の人たちが一生懸命働いてきたからです。国民が豊かといわれる今の日本を作り、発展させてきたのです。戦後一度も戦争をしていないし、1人も殺さずにやってこれた。それができたのは、日本国憲法があるからです。

私は、これからも現地の人々に寄り添いながら支援活動を続けていきたいと思っています。今日の憲法記念日にあたって、もう一度原点に立ち返って、これからも憲法が輝くように活動を続けていきたいと思っています。



メーデー集会で作られた人文字です(5月1日 札幌・中島公園)

みなさんへのお知らせ

■堀潤さん(前NHKキャスター)をお招きして、結成8周年記念講演会を開催します

堀潤さん(36歳 前NHK「ニュース9」キャスター 「僕らのニュースルーム革命」著者)をお招きして、下記の要項にて開催することになりました。

ご案内のチラシも同封させていただきますので、どうぞお知り合いの方にもお知らせください。

「個人発信の時代に考えるべきこと～堀潤さんと『メディアの明日』を考える～」

6月28日(土) 18:15～20:30

共済ホール(札幌市中央区北4西1)

なお、特別報告として、『岐路に立つ日本国憲法』渡辺達生弁護士(自由法曹団道支部事務局長)も予定しています。

■チェ・ゲバラの娘 アレイダ・ゲバラさん(小児科医)の講演と映画上映会のご案内

「キューバに生きる芸術～アートを支える人々と教育」

当会も主催団体に加わって開催されます。アレイダ・ゲバラさんは、来日は4回目、北海道は初めてのことです。

6月19日(木) 18:30～

札幌エルプラザ・ホール(北区北8西3)

*詳しくは、同封のチラシをご参照ください。

■憲法セミナーは今年も数回の開催を検討しています

先日の「札幌の朝鮮人強制連行」に続いて、鈴木昭典氏(「日本国憲法を生んだ密室の9日間」著者)をお招きしたセミナーを検討中です。

決まり次第お知らせしますので、どうぞよろしくお願いたします。

■会費の納入にご協力をお願いします

当会の活動を支える会費の納入にご協力をよろしくお願いいたします。

また、募金についても、ご協力いただけますと幸いです。



集団的自衛権の行使容認に反対する街頭での行動が活発に行われています。(5月20日 札幌・大通公園にて)

医療九条の会・北海道
会報 第25号

◎発行日/2014年5月30日 ◎発行責任者/松崎 道幸

◎連絡先/札幌市北区北14西3-1-12 ◎電話(011)758-4585 ◎FAX(011)716-3927

◎<http://iryoo-9jyo.net> 9jyo@dominiren.gr.jp